

地域を舞台に 観光で学ぼう。

観光学部 准教授

太田 均

OTA

HITOSHI

略歴

(株)JTBに23年半在籍。主に観光振興・地域活性化のコンサルティングと、イベント・プロモーションなどのプロデュース業務に従事。その後、観光・サービス業経営コンサルタント会社を経て、フリーランスで活動を行いながら、国土交通省近畿運輸局観光部や大阪観光大学で非常勤職員を兼務。2019年4月より現職。

専門分野

観光学、地域振興、人文地理学

研究活動



「プロデュースノウハウ活用能力(プロデュース・リテラシー〈造語〉) 修得カリキュラムの開発」では、「観光で学ぶ」のスタンスに立ち、観光分野はもちろんのこと、観光分野以外でも活躍できる人材育成をテーマにしています。

カリキュラム例として、スタジオ(ゼミ)の学生達自身が企画・運営する「まち歩き」事業を実践しています。フィールドワーク・グループワークを重ね、まち歩きツアーを企画し参加者を一般募集のうえ、ガイド・運営スタッフとして実施することにより、学びの社会への還元を遂行しました。

能力の修得以外にも、スタジオ生からは、「初めは『まち歩きなんて』と思っていましたが、2年まち歩きと向き合い実施し、お客様に喜んでもらえる喜びや時間をかけ取り組んだ事への満足感や達成感が大きかったです」等の声が挙がっています。

担当授業

◆地域観光計画論:

地域が協働して地域活性化に取り組むための観光計画についてディスカッションを交えて理解を深め、計画事例も研究しながら、地域の観光振興を考える力となる礎を築けます。観光振興に実際に携わる外部講師等を迎え、リアルタイムの観光の現状と施策を学ぶこともできます。

◆旅行事業論:

旅行事業について、実務と経営の両面から学びを掘り下げています。旅行業界の本質・経営・学術の視点から業界の全体像を捉え、旅行業界が求める人材教育の授業と位置付けています。消費者の適正な旅行商品の選択と旅行会社間の公正な競争の確保のために活動している外部講師等を迎え、実務課題の深掘りもできます。

学外での取り組みなど

働いて、楽しんで、成長することもが主役の体験型アミューズメントパーク「キッサニア甲子園」と連携し、視察・研修後、お仕事パビリオンの運営を見学体験するプログラムを学生に向けて実施しました。

屋内の対面式・体験型のアミューズメントパークを通じ、ターゲットに対する楽しんでもらう工夫や空間の演出等を学びました。

※スタッフと子供以外のパビリオン内での見学体験は、キッサニア甲子園では初の試み。